

自由民主党

今後、この市民との信頼関係をどのように回復させていくつもりか。

市民生活部長 今回の国民健康保険料過徴収問題は、一刻も早く今後の再発防止に努めるとともに、過徴収分を対象者にお返しすることによって信頼回復に努めていきたいと考えている。

「ラグビーワールドカップ誘致」

市長は二〇一九年に日本で開催されるラグビーワールドカップを高校ラグビーの聖地「花園」になんと誘致したいと市政運営方針の中で熱く語っている。「ラグビーのまち」を標榜する本市にとって「花園」で開催されることは、まちづくりの観点から、あるいは

は経済効果を考えても、施設面での物足りなさはあるものは是非実現すべきと考えるかどうか。

市長 ワールドカップは、オリンピックと同様に子ども達に夢と希望そして感動を与え、全世界注目のスポーツの祭典であり、近鉄花園ラグビー場に誘致することで本市まちづくりの活性化につなげたい。ハード整

民主リベラル東大阪

代表質問 寺田 広昭

外郭団体のありかた方針について市民目線での見直しを求める ゆとりと責任を持って子育てができる社会支援の強化を！

「家庭における子育て支援策の充実」

問 乳幼児の子育て支援の充実が少子高齢化社会を迎え、喫緊の課題である。とりわけ保育所などに入所させずに子育てをする家庭に対する支援の見直しと充実に取り組み、保護者の経済的、精神的な負担の軽減を図る施策を充実させる必要があると考えるがどうか。

答 子育て家庭の孤立が進んでおり、さらなる充実が求められている。また、子供の病気等で仕事に行けない事態に陥っている保護者が安心して就労できるように、診療所型の病児、病後児保

育室の拡充を図っていく。

問 外郭団体のありかたの見直しは、行財政改革の大きな柱として早急の実施しなければならぬ重要課題で

(次頁へつづく)



在宅家庭の子育てを応援する支援センターがオープンします。(旭町子育て支援センター)

福祉部長 在宅児童に関する子育て支援は保育所、NPO法人等が実施しているが、地域の養育力の低下や核家族化、都市化などに

備に課題はあるが、府知事とともに市民、企業、大学や議会の皆様とスクラムを組み是非実現したい。「ラグビーのまち」を表明し、二十三年三月に二十周年を迎えることから誘致に向け市民機運の醸成も図る。

「都市計画道路大阪瓢箪山線」

問 近鉄奈良線連続立体交差事業に関連し、都市計画

道路大阪瓢箪山線の事業化がされている区間は、中央環状線から恩智川までの約二キロメートルと聞いている。しかし、恩智川の手前で行き止まりではインフラ整備の効果が望めないところである。大阪府では、恩智川から外環状線までの約一キロメートルの区間の整備をどのように計画しているのか、また、東大阪市の

さわやかな風

代表質問 飯田 芳春

国保料過徴収問題は組織ぐるみの隠蔽ではないのか！ あまりにもズサンな事務執行が原因ではないのか！

「過徴収の原因」

国保料の介護保険分を過徴収した問題は、平成十二年四月の介護保険制度開始に伴い構築したプログラムミスによって、第二号被保険者数が実数と乖離していたことが原因とされている。しかし、毎月府に対して当該被保険者の人数の報告をしており、対象者の人口が減少している状況を行政間の連携によりチェックしていれば防げたのではないかと

なる被保険者数の誤りを認識しておきながら、二月五日の国民健康保険運営協議会において、平成十四年度からの国保料介護分の過徴収を公表した。約二年前から誤りを認識しながら、ここまで公表しなかったことは、組織として都合の悪いことは隠蔽しようという行政の体質の表れではないのか。

「公表遅れによる損失」

市長は「社会保険診療報酬支払基金」に対して、既に納付金として納めた過徴収分の返還を求めているが、

精算が確定している平成十九年度以前については困難との見解を示している。もし、この事実を認識した一昨年四月に公表し返還を求めれば、平成十九年度分を返還してもらったことも可能だったのではないかと。そう考えると約十億円の損失であると言える。

「全市民への影響」

国民健康保険に関わる特別会計には、一般会計から繰入額として多額の税金が投入されており、全市民に

(次頁へつづく)